

# ひらほく新聞



「ひらほく新聞」で検索！  
 ★ホームページ・ひらほくランド★  
<http://www.hirahoku.com/>  
 ☆バックナンバー含む「ひらほく新聞」を  
 閲覧・ダウンロード可能です！

発行所 読売センター平塚北部（ひらほく）山本 直 〒254-0013 神奈川県平塚市田村9-4-32 電話 0463-54-2807

# いっちゃんほめて びただけの 使命とともに



神奈川県座間市内で起きた前代未聞、異様な、そして猟奇的な犯罪。犠牲者の方には心からお悔やみを申し上げます。私はその座間市に住み、現場近くの会議施設にもよく集まることがあり、身近に起きた今回の事件に、大変な衝撃を受け、そして深く胸が痛みました。スマホ・SNS社会への強烈な警笛と受け取り、私たちにできることは何か、11月前半はずっと悩み続けました。

奇跡的なご縁の繋がりでいただいたこの大切な命が、なぜにこんなにも……。今回の報道を見て、今の若い世代の子達はどうか感じただしょうか。スマホのゲームのように他人事くらいに軽く感じる子もしいたらと思うと……。悩み、心配を続けても、良いことは始まらない。一つの大切な命のために、微力でも目の前のやるべきこと、できることをもつとつと本気で全うしなければ、とあらためて使命を強く実感しました。そんな折、命に対する思い、自分がいまココに在ることを見つめ直す有難い機会がありました。

先月10月16日、ミュージカル「DAICHII」を観てきました。この物語の実話からの書籍の編集に関わり、自ら

勝手に応援番長に手を挙げたというサンマーク出版、鈴木七沖さんに、早い時期にぜひともと勧めていただいていた、その「どうしても観てもらいたい」という熱意のとおり、会場を涙と感動の渦に包み込む素晴らしい作品でした。

ユアストーリー  
 まきりかプロデューサー  
 ミュージカル  
 『DAICHII』  
 ～愛とともに～  
 生きる人たちへ  
 生きる、食べる、愛する、  
 そして、死をむかえる。  
 人はそうやって、  
 めぐりめぐらるんだよ。  
 ー君はそれを  
 教えるにやって来た。  
 たった4年間の  
 命とひきかえに。

ユアストーリー  
 洞爺湖畔の農家、倉田ファームに生まれた早苗（鈴木蘭々）。「農業をやりたい」という貴男と結婚し、倉田ファームを継ぐことに。長男の大地が産まれる。しかし、農業のやり方に関してそこから両親と争いの連続。ことごとく意見が対立し、確執はピークに。さらなる自然災害で倉田ファームは大借金をかかえる。貴男は心の病になる。言い争いの末、埋まらない溝は深まり、早苗は実の父から「クビ」を宣告される。そして、まさにその夜突然に、わずか4歳の大地がこの世を去ってしまう。あまりに唐突な死であった。その絶望の淵にいた早苗たちを救ったものは――。

倉田ファームは「自然栽培の農場」へと変化を遂げていた。ある時、取引先のオーナーシェフが言った「野菜の味が変わりましたね。何をしたんですか？」「何も……。しいていえば、ただ「ありがとう」と言っています」。そして間もなく「ありがとう野菜」を仕入れたいと、日本じゅうから問い合わせが殺到しはじめた。現在は兵庫・淡路島で「ありがとう農法 たかちやんファーム」を営む村上貴仁・さゆみ 夫妻に、本当に起こった奇跡の物語。

序盤から胸が熱くなり、涙の連続……。演技を超えた先の圧倒的な表現力。これほどまでに胸を打つ、魂に響くという感情はこれまでもあっただろうか。舞台上ダイチ役は、ダイチの魂としていつも傍らにいて、家族や関係する皆をとっても優しい眼差しで見つめていて、「君を見てきたよ、ずっと」と歌で大切な思いを場面場面で表現。歌や場面随所に絶妙なピアノ、ホルン。脚本のほか、その歌までも手掛けているまきりかさんの素晴らしいコンタクトをとっているかの如くの、伝えていない情報までも歌に演技に落とし込んでいって、主人公早苗

「目には見えなくても、そこに確かにあるもの」。これまで当紙で何度も紹介してきた「胎内記憶」のお話にリンクする「子どもって生まれる前に自分で親を選んでくる」というメッセージ。わずか4年の命でも皆を笑顔にしたい、幸せになつてほしいと伝え続けている壮大なダイチの計画は今なお皆の心に生きています。そしてその命の教えは未来を創っていく。奇跡的にめぐり、繋がる命にはこれほどの力がある。先祖から繋がるDNAは全てこの胸の奥、魂に刻まれているともいう。一人ひとり違う、それぞれに与えられた存在意義、有難い『命の使命』がある。決して命を無駄遣いしてはいけない。見えなくても確実に後押ししてくれている愛の力を信じて、出会った目の前の人と助け合い共に前へ生きていってほしい。『命にありがとう』。「野菜だけではなく、草も虫も、土のなかの微生物もみな懸命に生きている。大地にはこんなにも命があふれている」と素直に気づくことができたなら、自然と『ありがとう』があふれてくる。ラストの合唱、「ありがとう ありがとう ありがとう……」が胸の中で木霊する。どうか届いてほしい。悩み苦しむ人たちの心に。

心温まる書籍紹介ブログ  
『人の心に灯をともし』  
より今月もご紹介します。  
脳科学者、中野信子氏の  
心に響く言葉より…

## 平穩無事な日々は 脳を衰えさせる

「幸福な人生」というと、  
何ごともない平穩無事な人  
生をイメージする人が多い  
かもしれません。しかし、  
同じ刺激が単調に繰り返さ  
れるだけでは、脳内快楽物  
質は出なくなり、波風  
が立たない人生の日々は、  
脳にとっては何の新鮮な感  
動もない砂漠。こうした飢  
餓状態が続くと、脳は衰え  
ます。さまざまな困難が次  
々と襲ってくる人生のほう  
が、それを乗り越えるた  
びに深い幸福感を感じること  
ができるのです。

『生きるのが楽しくなる脳に  
効く言葉』セブン&アイ出版

人は誰もが平穩無事を願  
う。しかしもし、何年も何  
十年もの間、病氣や事故も、  
困難も辛いことも何もなく、  
毎日が平穩無事に過ぎて  
いったとしたら、人は確  
実にボケてしまうだろう。  
困難や辛いことがあるから  
こそ、それを乗り越えるこ  
とによって、人間的に成長  
できる。だから、後から振  
り返ってみて、あの困難や  
辛いことがあったから、今  
の自分がある、と思える。

そして、困難や辛かったこ  
とも感謝ができる。我々  
は、魂の成長のために、こ  
の地球に生れてきた。それ  
は、少しでも、人の役に立  
てる人間になること。自分  
のことばかり考えている利  
己の人には、成長はない。

壮絶な体験からでした。  
「父親は戦争で亡くなり私  
達姉妹3人を抱えて20代の  
母親は大変な苦勞をしまし  
た。もはや食べていくこと  
も難しいほど悲惨な状況に  
近所の人は無理心中するん  
じゃないかと心配して、あ  
る人がそつと入口に紙切れ  
を挟んでくれました。そこ  
にはこう書いてありました。

むせび泣いていて、空を眺  
めたときに、ふと大空を飛  
ぶ鳥が目に入りました。あ  
あ、鳥は大空を自由に羽ば  
たいている。そうだ、人間  
は生きるといふ気力さえあ  
れば、必ずあの鳥のように  
自由に生きていけるはず  
だ！これから前を向いて生  
きていこう！14歳のあの  
時、しっかりと決めました。

◎オススメ新刊書籍◎  
**幸せの神様に  
愛される生き方**  
白駒妃登美（育鵬社）  
これまで何度も書籍や講  
演内容をご紹介してきました  
た大好きな博多の歴史、白  
駒妃登美さんの新刊です。

た。そして、その絶対条件  
が「笑顔」だったのです。  
祖母に鍛えられたおかげで、  
私はよく「どんな時でも笑  
顔です」と言われます。  
祖母とのこんな会話も、  
私の思い出に残っています。  
その頃、私は祖母と毎  
日一緒にお風呂に入ってい  
たのですが、ある時、湯船  
につかっていると、「お風  
呂のお湯を、手で前に押し  
てごらん」と言われたので  
す。それで押し出してみた  
ら、波ができて、湯船の周  
りをぐるっと回って、その  
お湯の流れが、自分の背中  
に返ってきました。

編集後記  
まずは本年伝えさせてい  
ただいたことの総括です。  
どんな自分も『受け入れ、  
認め、ゆるし、愛する、ほ  
める』。どんな出来事も起  
きた事実は変わらないから  
『有難く』必然と受け取る  
(この癖付けが重要)。  
満たされてあふれた愛で  
出会った目の前の誰かの笑  
顔、喜びのために見返りを  
求めず動く。いつも『笑  
顔』から。良い言葉(天国  
言葉)を使い、その行動は、  
(高橋恵さんの教えより)  
「言ってみる」、「行ってみ  
る」、「やってみる」。

我々は、生まれる前に自  
分が書いたシナリオ通りに  
生きると言われている。  
人生を舞台とするなら、  
シナリオを自分で書き、演  
出も照明も自分で、そして、  
主役として自分自身が演じ  
る。だとするなら、自分に  
起る困難や辛いこと、面  
倒なことに対して、文句や  
愚痴、泣き言はいえない。  
自分でそれを決めてきたの  
だから。

「あなたには、3つの太陽  
があるじゃないですか。今  
は雲の中に隠れていても、  
いつか必ず輝くときが来る  
でしょう。だからどうか死  
なないうでください」  
この手紙のおかげで私達  
親子の命が助かり、今があ  
ります。だから働けるよう  
になって太陽の光になっ  
て、どうしてもこの輝きを  
多くの人に届けたいと思っ  
て、こうして見返りを求め  
ず、損得考えず、とにかく  
人が喜ぶこと、笑顔になる  
こと、それだけをやろうと  
て行動しているわけです。」  
中学生の頃には姉妹が離  
れ離れになって、他人の家  
にもらわれていったそうで  
す。その頃の体験…。

会場に14歳の参加者の  
方がいてこのお話をされた  
のですが、これだけの飽食  
の時代、子どもたちにごこ  
まで厳しくできるでしょう  
か。思春期となれば親の言  
うことをなかなか素直には  
聞かない、学校の先生の話  
も興味を持ってない…。

「運」について考え続けて  
きた「博多の歴史」が、自  
身の「奇跡」を語るととも  
に、どうしたら「夢」をも  
超えた素敵な現実を生きる  
ことができるのか、「強運」  
をつかむ秘訣が満載です！  
ガンで余命宣告を受けた  
妃登美さんに起きた奇跡と  
は…。第一章は、テーマ  
「人生に奇跡を起こす方法」  
の講演内容からです。

祖母はその時、「お金も  
一緒だよ」と言ったのです。  
「お金が欲しかったら、先  
に自分からお金を使う、誰  
かに愛してほしかったら、  
自分が人に優しくする。欲  
しい物ほど、先に相手にあ  
げるんだよ。そしてね、お  
金は、お風呂のお湯と同じ  
ように、いい使い方をし  
ている人のところには、旅を  
した後でちゃんと返って  
くるよ」(ごこまで)

3年前の春、大尊敬する  
父が他界した翌月の紙面に  
書きましたが、私は双子産  
まれ。弟はすぐに亡くなっ  
たと聞いていましたが、認  
知症になった母から4日生  
きたと聞き、信じています。  
いつからか、一緒にいる  
弟「光久」の存在を意識す  
るようになり、今では筆文  
字のサインも『直光久』に  
なりました。両親から引き  
継いだこの命の使命、今後  
も全力で「おせっか愛」を  
お届けします。新年もよろ  
しくお願いたします。

## おせっかひの原点

11月25日、9月号でご  
紹介しました「おせっかひ  
協会」高橋恵会長主催のイ  
ベントに参加、おせっかひ  
のご縁で繋がったたくさん  
のステキな仲間たちが集ま  
りました。恵さんは講演の  
なかで、なぜこんなにも人  
のために行動するようになった  
のか、という原点につ  
いて語ってくれました。

「先口、高野山で講演をさ  
せていただきましたが、手  
足が凍るような寒さで、他  
人の家で育った厳しい当時  
の境遇を思い出しました。  
トイレに行つて、何とか姉  
妹と一緒に暮らして幸せに  
なれないだろうか、と中で

以下、第五章「ご縁を大  
切に笑顔で生きる」より一  
部抜粋、お届けします。  
「幸せの神様がいらっしゃる、  
神様がいつい微笑んで、  
まっような、そんな人にな  
りなさい」という捉え方が、  
祖母のベースにあります。

「お天道様が見ている」と  
いうお話もいつも講演で大  
切に話されます。祖母の教  
え、本当に有難いですね。

「お天道様が見ている」と  
いうお話もいつも講演で大  
切に話されます。祖母の教  
え、本当に有難いですね。

「お天道様が見ている」と  
いうお話もいつも講演で大  
切に話されます。祖母の教  
え、本当に有難いですね。

「お天道様が見ている」と  
いうお話もいつも講演で大  
切に話されます。祖母の教  
え、本当に有難いですね。

「お天道様が見ている」と  
いうお話もいつも講演で大  
切に話されます。祖母の教  
え、本当に有難いですね。

「お天道様が見ている」と  
いうお話もいつも講演で大  
切に話されます。祖母の教  
え、本当に有難いですね。

「お天道様が見ている」と  
いうお話もいつも講演で大  
切に話されます。祖母の教  
え、本当に有難いですね。

「お天道様が見ている」と  
いうお話もいつも講演で大  
切に話されます。祖母の教  
え、本当に有難いですね。

「お天道様が見ている」と  
いうお話もいつも講演で大  
切に話されます。祖母の教  
え、本当に有難いですね。

